



第 68 回海岸工学講演会にて研究発表を行いました(2021/11/10-12)

場所：オンライン

参加者：鎌田 (M2), 藤 (M1)

11月10日(水)～12日(金)の3日間、オンラインで土木学会が主催する「第68回海岸工学講演会」が開催されました。土木学会海岸工学委員会では、査読付き論文集である「土木学会論文集 B2 (海岸工学)」を編纂しています。海岸工学講演会は、この論文に掲載された論文について発表会を行い、参加者との意見交換を行うものです。

当研究室からは学術講演会で4編の論文が採択され、鎌田 (M2)、藤 (M1) が登壇し、発表しました。

各発表者の講演題目等は次の通りです：

著者	タイトル
○鎌田 紘一, 門廻 充侍, Anawat Suppasri, 今村 文彦	東日本大震災における宮城県での低体温症犠牲者の実態分析
○藤 皓介, Anawat SUPPASRI, Kwanchai Pakoksung,	海面上昇が津波被害額に与える影響評価—産業連関表を用いた推定法—
○芹川 智紀, 門廻 充侍, サッパシー・アナワット, 今村 文彦	東日本大震災における犠牲者情報に基づく人的被害予測関数の検討—宮城県石巻市平野部の事例—
○梶谷 亮太, 山下 啓, SUPPASRI Anawat, 今村 文彦	津波堆積物の土砂供給源を考慮した古津波波源推定に関する研究

(文責：藤)